

企画展「弥生人といきもの 2026 草木もいきもの」主な展示品



写真：浜松市博物館

1 木甲 【重要文化財】

伊場遺跡（静岡県浜松市）  
浜松市博物館蔵

2025 年に重要文化財に指定された伊場遺跡出土品の中でも代表的な出土品である。後胴に翼状の張り出しを持つ「羽付（はねつき）」と呼ばれる特異な形態が最大の特徴。表面には鋸歯文などの精緻な幾何学文様が隙間なく彫り込まれ、その文様を際立たせるように赤漆と黒漆で鮮やかに塗り分けられている。本展示では装着状態を復元した模型と合わせて展示する。



写真：本館

2 弓 【重要文化財】

朝日遺跡（清須市・名古屋市）  
本館蔵

弥生時代の弓の多くは単一の木材から作られる丸木弓で、カヤやマキなど弾力性に優れ割れにくい木材が用いられた。本例は長さ 148.7cm の長弓で、材はマキ属とみられている。2 片に分かれていたが、2025 年度の修理事業で完形に復元された。



写真：安城市教育委員会

3 桜皮巻き小形壺形土器 【愛知県指定文化財】

さくらかわま こがたつぼがた  
かめづか  
亀塚遺跡（安城市）  
安城市教育委員会蔵

弥生時代後期の小形の壺形土器で、器高 11.9cm、口径 11.4cm（推定）、胴部最大径 13.8cm（被覆状態）、底径 4.8 cm である。土器の頸部から胴部・底部にかけての部分に幅 4～6mm の紐状樹皮を網状に巻きつけて器体を覆っており、極めて良好な保存状態で出土した珍しい土器である。1981 年 11 月に県指定文化財に指定された。



写真：青谷かみじち史跡公園

4 花卉高杯 【復元品】

青谷上寺地遺跡（鳥取県鳥取市）  
青谷かみじち史跡公園蔵

花卉高杯は、杯部底面に花卉のような文様が彫刻された木製容器で、弥生時代の高度な木工技術を象徴する遺物である。青谷上寺地遺跡を始め、石川県、兵庫県など日本海側に流通したブランド品である。本展示では青谷上寺地遺跡の復元品と鳥取県乙亥正屋敷廻遺跡から出土した組み合わせ式の出土品を展示する。



写真：愛知県埋蔵文化財センター

5 大型板材

勝川遺跡（春日井市）  
愛知県埋蔵文化財調査センター蔵

勝川遺跡は庄内川近くの河岸段丘に営まれた遺跡で、鋏などの木製品が作られていたことでも知られる。河岸段丘下の発掘調査では、長方形の穴の中に、長さ 190cm、幅 50cm のコウヤマキ製の板材が 5 枚、立て並べた状態で出土した。その大きさから、木棺の材として保管されていたのではないかと考えられている。